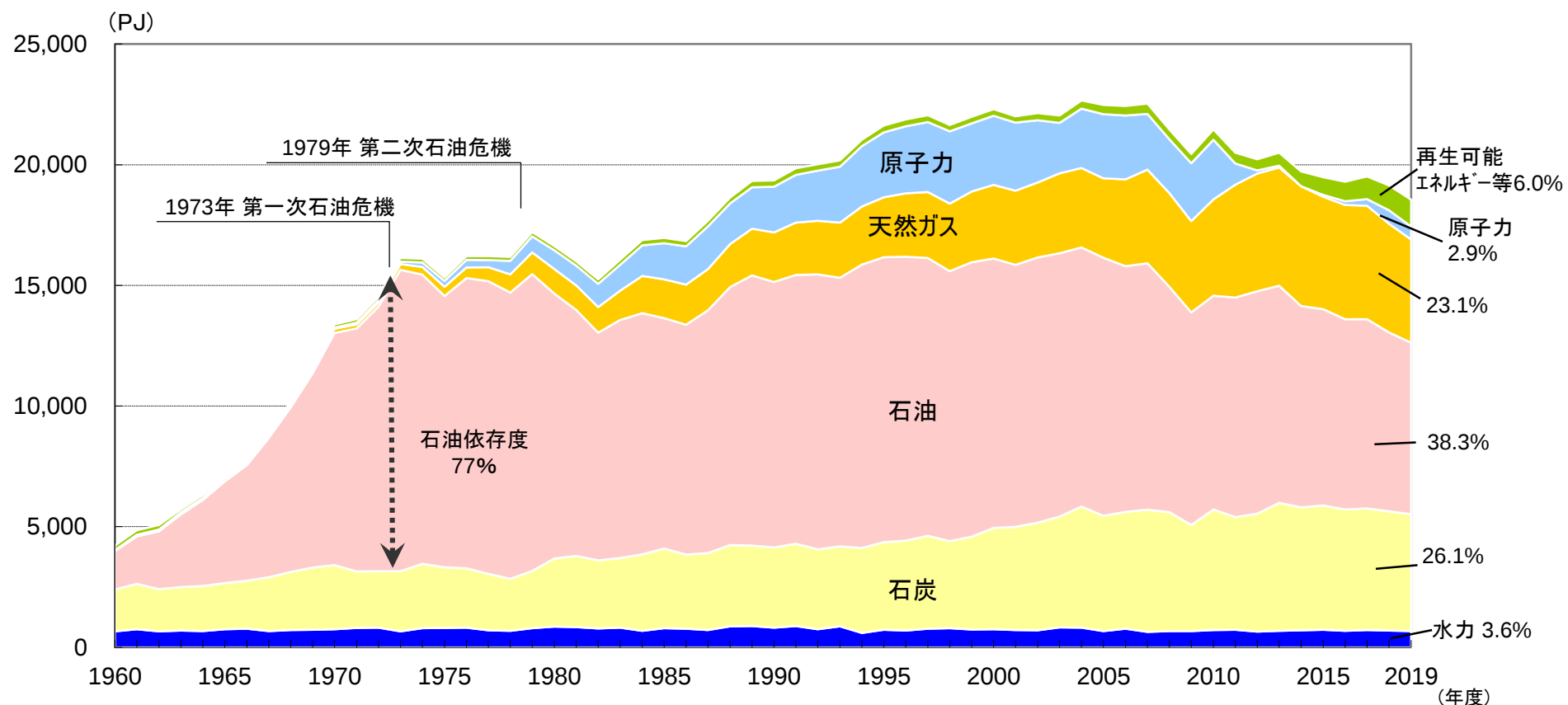


日本の一次エネルギー国内供給の推移（エネルギー資源別）

- 日本は、1960年代から石油危機までの高度成長期において、石油に高く依存するエネルギー供給構造でした（1973年度の石油依存度77%）
- しかしながら、石油危機により、原油価格の高騰や石油の供給途絶を経験した日本は、エネルギー供給の安定化を図るため、原子力・天然ガス等の石油代替エネルギーの導入を推進してきました（2019年度の石油依存度38%）



(注1) 1PJ(=10¹⁵J)は、原油約25,800klの熱量に相当(PJ:ペタジュール)

(注2) 未活用分エネルギーは除く

出典: 資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、(一財)日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」をもとに作成